



ごあいさつ

会長 金城 典子

春になると砂浜に続く松林で沢山の松露（ショウロ）を採集した30余年前の頃を思い出しながら、久しぶりに九十九里浜から銚子方面へと車を走らせました。以前の景色とは異なり、砂浜は寄せる波際までの距離がとても近く感じられます。実際、海水浴場がかつてあった36か所から19か所に減り、波際が100mほど道路方に移動して海となってしまった由、浸食は今も止まっていないとのこと。 「広い砂浜九十九里浜」で知られていたことは、昔のことになってしまうのでしょうか。皆様の周辺はいかがですか。お変わりなくお過ごしでございましょうか。

恒例の千葉菌類談話会・第25回スライド会が1月14日、10時過ぎから千葉県立中央博物館講堂・研修室で行われました。発表者は、吉田副会長の合図から、持ち時間いっぱい発表されますが、どの発表者も時間の過ぎることを忘れてしまうほど熱心にされ、魅了されます。

一例ですが、萩本氏による昨年のスライド会での発表の続編である「マツカサキノコ及びマツカサキノコモドキの子実体形成」での培地や栽培法をさらに検討された報告や小倉氏の「きのこ模型の気流可視化」の発表は胸がキュンと熱くなりました。そして1番目の発表者、中田さんの家族では小学3年生の朱音さんと小学5年生の裕土さんが吹春先生の研究室を訪ねて顕微鏡を使い、胞子や菌糸体を観察した報告をされ、続いて小学3年生の

千晴さんとお母さんが、家族旅行にでかけてきのこ観察をされた時の報告をされました。「きのこ」を通して自然に触れながら子育てされている様子はとても素敵です。



今年は千葉県立中央博物館において、7月22日～12月27日まで『きのこワンダーランド』展が開催されます。お子さんやお孫さん、またご近所の方々やお友達等をお誘いして来館されてはいかがでしょうか。「きのこの世界」をより深めながら楽しみましょう。

また9月22日～24日には、千葉県銚子市（君が浜しおさい公園）・東庄町（東庄県民の森）で日本菌学会の菌類観察会が、千葉科学大学の糟谷大河実行委員長により行われます。ぜひ千葉菌類談話会の皆様方もお誘いあわせのうえ、ご参加のほどをよろしく願い致します。

千葉菌類談話会の観察は、新緑の美しい佐倉城址公園を皮切りに新年度のきのこ観察会が行われます。鳥のように羽ばたき、飛躍する年でありますように皆様のご健康と活躍を祈念致します。